

授業開始♪

「生物基礎」担当 Osami Nabeta

00 オリエンテーション①

http://blog.goo.ne.jp/bio_ascidian

授業の目的 授業の主役である生徒の皆さんに、予め知っておいて欲しいことを伝える。

授業の幹 0...何事においても「目的」は大事

目的—目標（課題）—方法—結果—評価 目的と評価が一致していることが大切です。
目的をはっきりと文で示す。

1...授業の大前提「自分も他の人も大切な人」

自分らしさをお互いに認め合える関係をつくる。
自分を見捨てず、他の人も見捨てない—折り合いをつける。

2...クラス授業としての目的「学ぶ集団を作る—自分も他の人も伸びる」

学びを広げ、深めるには「人」が必要です。学びを定着させるには「孤独」が必要です。
授業で最も有効なツールは、クラスの人たちの頭脳を互いに活用することです。

3...教科学習としての目的「本当にわかる」

学びの継続、教養（リテラシー）としての学習です。
ひとつの目安は「他の人に説明できる」ことです。—授業方法や考查内容も関係します。

授業の枝

・期待する授業のイメージ

みんなで創り上げる
自分の存在が認められる
安心して学べる/失敗できる ような時間と空間でありたいですね。

・授業の進め方（標準）

- ①授業の目的・目標の確認—5分
- ②活動—35～40分
- ③授業の評価、次への課題—10～5分

・準備するもの

教科書・図説
授業プリント収納ファイル、復習・整理用ノート
持ち込み可能—携帯端末・電子辞書、専門書など

・履修と評価

(1)履修—評価を得る前提条件

授業に出て、目的意識を持って、目標に向かって取り組んで下さい。
欠席数が多い場合、履修を認めません。
授業に取り組まない場合も、出席とは認められません。

(2)学年末5段階評定—600点満点で分布から算出

定期考査—100点満点×5回（オリジナル作問—言語力を求める）
年間総合考査—100点満点×1回（到達度テスト・学力調査）